

2014年12月21日

フィッチ・レーティングスがエジプトの格付けを引き上げ

格付け会社フィッチ・レーティングスはエジプトの外貨建ておよび現地通貨建て長期発行体デフォルト格付け (IDR) を「B-」から「B」へ引き上げ、見通しを「安定的」とし、エジプトの外貨建ておよび現地通貨建て無担保シニア債の銘柄格付けも「B-」から「B」へ引き上げた。カントリー・シーリングは「B-」から「B」へ引き上げられ、外貨建て短期IDRは「B」と再確認された。エジプトのIDR引き上げは次の主要格付要因とその相対的な重要性を反映している。高度: 政府は近年に表面化ないし深刻化した重大な構造的な弱点の一部に取り組むために設計された政策が軌道に乗り始めている。明確な財政再編 5 年戦略の一部として燃料補助金の削減と増税が実施されている。電力不足への取り組みがあり、石油会社への未払金が削減され、投資法が改正され、外国人投資家との争議の和解が成立している。これらの対策は強い政治的な後押しを受けているようである。中程度: 財政再編、力強い成長率、商品価格低下が財政赤字を縮小させる見通しである。ただし、2015 年度 (年度末 6 月) 見通しで GDP 比 10.2% と同等国と比較して高水準にとどまる。補助金を除く赤字は 2015 年度に GDP 比 6.3% まで縮小すると予想されている。燃料補助金は削減され、新税が導入され、既存の税制改革は全般に計画が前倒しされている。2015 年後半に課税ベースを拡げる付加価値税の導入が予想されている。財政収支が原油価格低下の恩恵を享受するのは明らかであり、小麦価格も予算水準を大きく下回っていることから、2015 年度の補助金予算をさらに節減させることになるだろう。(ロイター)

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様に MENA 市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、勧誘、販売を目的としたものではありません。■当資料は本来の受信者の社内用途のためだけに提供されています。本資料のいかなる部分も、弊社の事前の書面による同意を得ることなく、その内容の全部または一部を許可なく使用、発信、配布または複写することを固く禁じます。